

東海大学理学部

数学科同窓会会報

第13号

【巻頭言】

東海大学名誉教授 渡辺純三

数学と聖書学は、体系のもっとも整った学問であると言われている。ヨーロッパの大学は1000年以上の歴史をもつものがあるのだが、キリスト教が絶対的な権力をもっていた時代には、神学が大学の中でも最大の重要性をもっていた。他に、哲学と医学と法学、天文学等あったにもかかわらず。

日本では、神学に興味を持つ人たちは少数派だ。しかし、欧米では、依然としてキリスト教が大きな権威と影響力をもっている。例えばイギリスでは国会の全議席の内、17議席はビショップに与えられる。米国のテンプレート財団は、キリスト教に好意的な考えを表明する科学者・哲学者・団体を毎年選んで、ノーベル賞並の賞金を与えている。

まるで言葉遊びの様な「神の存在証明」が、中世では、真面目に議論されていた。その中には、若いバートランド・ラッセルが殆どだまされてしまうほどに巧妙な論法もあった。

現代でも、「神は存在するか」というタイトルで、多くの大学でディベートが繰り返される。「利己的な遺伝子」の著者として有名なオックスフォード大学の進化生物学者R・ドーキンスは無神論の急先鋒だ。しかし、逆の立場の人たちも多い。

中世の神学の役割を、現代では、数学が担うべきだという強い思いを、私はもっている。

数学の持つ驚くべきパワーがもっとも強調されて良い。ガリレオ・ガリレイは、自然が数学の言葉で記述できると言った歴史上の最初の人間だ。アインシュタインの相対性理論もボーアの量子力学も、数学で記述されている。物理学者が求める「万物の方程式」も数学に違いない。数学がなければ、MRI もなければ、スマホもなければ、飛行機も飛ばないだろう。

ところで数学って何だろう。これは、誰にもわからないのではないだろうか。在職時代の同僚Y先生が「数学は楽しもうという学問だ」と言われるのを聞いたことがある。これは、数学のある側面を端的に表している。ガウス少年が、1から100までの和を瞬時に計算してしまったとか、ヨハン・ベルヌーイが、

$$\sum_{n=1}^{100} n^{10} :$$

を一晩で計算して、兄のダニエルを悔しがらせたとか、すべて「楽できる」実例だ。そして計算機そのものが、楽

できる最たるもの。(数学者に「なまけもの」が多いのも腑に落ちる。)

神の存在証明があるなら、神の不在証明があっても良いはずだ。オックスフォード大学の物理化学者、ピーター・アトキンスの神の不在証明を紹介しよう。神がいて、この宇宙を創造したとすると、神はもっとも楽な方法を選ぶはずだ。すなわち最小の労力で、最大の効果をあげることを考える、すなわち、自分が存在しないことを選ぶだろう。まったく納得できるのではないだろうか。

【大学の学びを生かして】

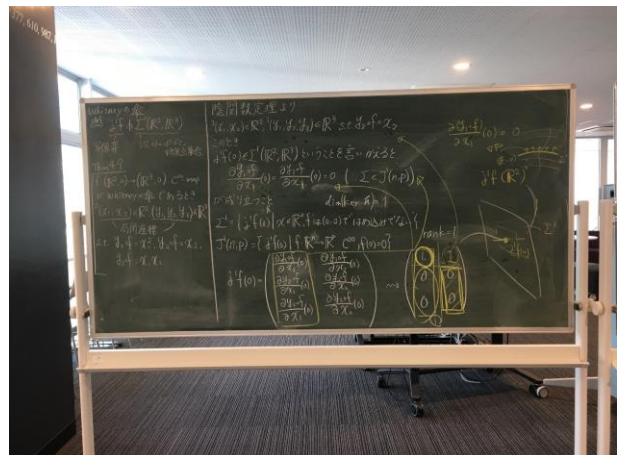
2017年度 数学科卒 上田未来

初めに、会報を執筆する機会を与えてくださった数学科の先生方に、厚く御礼申し上げます。



今年の4月より、初任者として横浜市の中学校で数学を子どもたちに教えております。子どもたちと関わることの楽しさを感じると共に、子どもたちから学ぶことも大変多いことを実感しております。また、周りの先生方も、初任者で分からないことばかりの私に、様々なことを一つ一つ丁寧に教えてくださり、充実した日々を過ごさせていただいています。授業においては、自分の数学への知識不足を痛感し、どのような授業が子どもたちにとってより良いのかを常に考え、教材研究に励んでおります。

このように、より良い授業とは何かを考え始めたきっかけは、大学時代の学びでした。大学3年の4月より数学科教育法を受講し始め、初めて模擬授業をさせていただいた際に、多くのご指摘を受けました。反省すると共に、実際に子どもたちが授業を受けることを想定して、様々な視点から授業を考えることが必要なことに気づくことができました。数学科教育法の授業では、一緒



に成長しあえる友人と出会うことができ、社会人になった今も連絡を取り合い、互いに高め合える仲間となっています。

また、大学生活で印象に残っているのは大学4年のゼミナールです。小川先生のゼミに所属し、3~8月頃まではゼミ生2人で協力して、数学の基本が書かれた本を一冊読み進め、9月以降は自分が興味のある本をそれぞれで読み進めていきました。ゼミでは、数学の基礎の部分でつまづくことが多く、小川先生にはご迷惑をおかけしてしまいました。しかし小川先生は、そんな私たちにも熱心にご指導してくださりました。一人で読み進めるのが難しく、逃げ出したくなることもありましたが、ゼミ以外の時間にも先生は質問に答えてくださり、数学と向き合うことができました。数学の難しさと楽しさを学ぶことができた1年間を過ごさせていただきました。数学を教える身となった今、今度は私が子どもたちに数学の楽しさなどを伝えていきたいと思います。

【毎日がゴールデンウィーク】

1975年度 数学科応用数学専攻卒 磯村秀機

私達の頃は数学科が応用数学専攻と基礎数学専攻に分かれていました。私は応数の方です。入学は工学部経営工学科でしたが、3年生で転部科し2年間で卒業。ですから数学科には2年間しか在籍していません。

初めに数学科に入って驚いたことは、生徒と先生の距離が近く『よし、今日はソフトボールにしよう』とすぐにグラウンド集合になってしまうことです。クラスの担任が31歳、後に東海大学福岡短大大学長になられた成嶋弘先生でした。

平成14年にはその成嶋先生を迎えて応数の同窓会を有楽町で行い、卒業後27年で15名程の出席がありました。

他の学部友人が多く彼等と今も交友しています。大学卒業20周年でグアムに6名で3泊4日の旅行、一昨年は同じメンバーにそれぞれの妻も参加し、岡山に2泊3日の旅行をしました。本年11月には会津です。

今年5月に65歳を迎え無事に退職できました。毎日がゴールデンウィークになると、娘から孫守の依頼が何かと入るようになりました。妻はそれを喜んでいますが、まだ私は付いていくのに苦労しています。

晴れば海や川での釣り。

雨が降れば居合の稽古。

自由な旅行とハイキング、更に弓道教室にも通い始めました。食べ歩きも飲み歩きもし、結構多忙な日々を過ごしております。

ふと5年後、10年後自分は何をしているのだろうかと考えます。毎日気儘に過ごしていてよいのかと疑問に思いません。

15年後には亡くなっているかもしれません。

そう考えると、Don't sleep through rest life! と誰かに叱られている気にもなります。

『生きがい』とか『目標』とか大上段に構えず、趣味を楽しみながら人生を全うする。これも十分な生き方と思える今日この頃です。

【仕事と趣味の近況】

1995年度 数学科卒 樋口典政

皆様こんにちは。1996年に卒業した樋口と申します。学生時代はろくに勉強もしておらず、授業の内容を理解するだけでも一苦労でしたが、それでもなんとか卒業しました。中には卒業後に休暇中にチョロツと教科書を読み返して始めて理解した物も…(笑)。

学生時代に学んだ線形代数学や幾何学、計算機の知識、そして、以前からの鉄道趣味が高じ、現在では地図データにまつわるソフトウェアの仕事に携わっています。地理情報システム(Geographic Information System→GIS)は数学やソフトウェアの他、地理学や社会科にまつわる文系的な知識も必須になり、社会人になってからも諸々学習の日々です。勿論、大学時代に学んだ数学も復習の繰り返しです。そして、特にAndroidのAPI(アプリを組むためのベースとなるプログラムの事)のリファレンス(説明書のこと)は英語の物しか出回っていないなどで、英語力も必須となってきています。

9月から新たな仕事として、ARやVRに携わる予定でしたが、現在の仕事の前任者が余り宜しくなく、その前任者が退職してしまったので、それを引き継いでの作業で来年になりそうです。ARは前にチョコツと携わったことがありましたが、それこそ線形代数学の定理が出まくってきて、学生時代に使用した、今は亡き今井先生の教科書を引っ張り出しての再学習です。今後再び学生時代を思い出しながらの代数学、幾何学の復習が続くのかも知れません。

前述の通り、子供の頃から40年以上鉄道好きを続けており、コレは恐らく一生続くでしょう。学生時代は乗り鉄を主とし、卒業後も暫くは乗りを続け、時々撮りも交えては来ましたが、今ではすっかりほぼ「模型鉄」に専念しており、時々乗りに行くことはあるものの、基本自宅で模型を眺めたり、模型を貸しレイアウトに持ち込んで走らせることが多くなりました。また、卒業後知り合った友人と「ハードオフ巡り」と称して中古模型などを漁ることもありません。まあ、20年間「あまり変わっていない」とも言えそうです(笑)。

最後に、数学科の発展をお祈り致します。

【同窓会の活動状況】

2017年度は2018年3月25日の学位授与式が終了した後、同窓会賞の授与式を行いました。山田同窓会長から上田未来さんに授与されました。その後、同窓会の入会申し込みを受け付けました。入会時に会報の購読の申し込みも行っていただき希望者にお送りしています。住所変更があった場合には後述の連絡先までご連絡ください。

来年2019年度は数学科同窓会の設立30周年記念の年になります。祝賀会を行うか検討したいと思っています。決まり次第、数学科同窓会で正しい住所を管理している人に案内状をお送りしたいと思います。

例年、11月3日の大学の同窓会ホームカミングデーに合わせて数学科同窓会も18号館理学部棟の8階で開催しています。お気軽に参加してください。お待ちしております。参加者全員に最新の会報を配布いたします。会報購読希望の会員に会報の送付を行っていますが、周りで届いていない人がいましたら事務局までご連絡ください。お送りいたします。

OB, OGとして学生支援に役立てるよう協力して行くではありませんか。

同窓会として協力できることは実施していきたいと思っておりますので、お力添えのほどよろしくお願いいたします。数学科同窓会の会員数は

2018年4月現在：4476名です。



(山田会長の挨拶風景)



(同窓会賞授与の風景)



(卒業生)

【事務局便り】

数学科同窓会の会報は卒業生や先生方からのメッセージや大学の現況、さらに懐かしい先生からの思い出など、同窓生にとって有意義な情報発信ができればと思っています。800文字＋写真など原稿をお届けください。次号に掲載させていただきます。また、興味のある企画などありましたら積極的にお寄せください。

卒業生の寄稿も歓迎です。また、一言メッセージを随時募集しています。また広告の掲載も募集しています。掲載を希望される人は下記の連絡先にお問い合わせください。数学科同窓会に関するお問い合わせも、下記の連絡先までお寄せください。E-mail でお待ちしています。

連絡先

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1
東海大学理学部数学科同窓会事務局
事務局長：原田三行（70年度卒）
e-mail：zharada@star.tokai-u.jp

同窓会の運営経費は会員皆様の会費によって維持されております。一口2000円（何口でも可）を次の郵便口座まで振り込んでいただきますよう皆様のご協力をお願いいたします。なお、納入者については会報に掲載しご報告とさせていただきます。

ゆうちょ銀行口座

口座番号：10200-25747091
口座名：東海大学数学科同窓会

【同窓会費納入者名簿】敬称略

【2017 年度】

赤羽哲明、池田尚人、上田未来、海老原一志、遠藤洋介、勝又力也、加藤元輝、川名智之、佐古聖人、高森雅幸、丹野雄斗、鉄羅幸二郎、土井健太郎、中川桐弥、並木櫻、日原和輝、三原希生、宮田崇文、依田晃一

【2018 年】

39 年度理数科

ありがとうございました。

【2018 年度理学部数学科教員名簿】

湘南校舎 主任 教授	フルヤ ヤオ	古谷康雄
湘南校舎 教授	ウエキ セイイチロウ	植木誠一郎
清水校舎 教授	ウラハ マツグ	占部正承
湘南校舎 教授	キキ シ	桐木紳
高輪校舎 教授	カイトシリ	酒井利訓
湘南校舎 教授	シマ アキコ	志摩亜希子
札幌校舎 教授	チン ウンゴウ	陳蘊剛
清水校舎 教授	カムラ アキヒロ	中村昭宏
清水校舎 教授	ホノ キョウ	細野潔
湘南校舎 教授	マダ ヨウイチ	前田陽一
湘南校舎 教授	ヤマモト ヨシロウ	山本義郎
高輪校舎 准教授	キダ ケン	貴田研司
湘南校舎 准教授	サキ アツム	笹木集夢
湘南校舎 准教授	ツキカ トオル	月岡透
湘南校舎 准教授	タキ シンゴ	瀧真語
清水校舎 准教授	マツダ カツミ	松田克己
湘南校舎 講師	ツジ タカエ	都地崇恵
湘南校舎 講師	カガイ ヒデアトモ	長井秀友
湘南校舎 講師	カヤマ ヒロマサ	中山洋将
湘南校舎 講師	カワ ノボル	小川竜
湘南校舎 講師	イワオ シンスケ	岩尾慎介
湘南校舎 講師	カノ ユウシ	中野雄史

以上

【数学科同窓会役員】

会長	山田正和	(69 年度卒)
副会長	松尾久美子	(70 年度卒)
〃	中村昭宏	(76 年度卒)
事務局長	原田三行	(70 年度卒)
幹事	千葉彰悟	(69 年度卒)
〃	沢野重春	(70 年度卒)
〃	坂井和也	(80 年度卒)
〃	岡安英文	(80 年度卒)
〃	山本義郎	(91 年度卒)
代議員	各年代 2 名	
会計	泉水博	(00 年度卒)
監査	手塚政夫	(70 年度卒)

【編集後記】

今年一年を振り返ってみると、自然災害が多く発生したという印象です。大雨による災害、命にかかわる気温で 40 度を越えた地域も出ました。震度 7 の地震も北海道で発生しました。災害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

会報の編集作業は記事の募集から始まりますが、なかなか集まらず、困難な状況が続いています。できるだけ多くの皆様にご協力のほどお願いいたします。今回は突然の原稿依頼にも関わらず、ご快諾していただき、誠にありがとうございます。原稿を執筆されながら、大学時代を振り返って、懐かしい時間を過ごされたのではないかと思います。今後、会報の原稿依頼に一人でも多くの方がご協力していただけたらとても助かります。ご協力していただける方は、メールアドレスを p. 3 に記載したアドレスの数学科事務局までお知らせください。皆様の奮っての寄稿を心より期待しています。

(み)



(数学科研究室のある 18 号館)



【発行】

発行日 2018 年 11 月 3 日
編集 東海大学理学部数学科同窓会会報編集委員会
発行人 山田正和
発行所 東海大学理学部数学科同窓会
〒259-1292
神奈川県平塚市北金目 4-1-1